

NHK公開番組「ふるさと競演」～大仙市vs仙北市～



チームリーダーの石原詢子さん(左端)と出演者の皆さん

NHK公開番組「ふるさと競演」～大仙市VS仙北市～が9月24日、大仙市の大曲市民会館で行われました。「ふるさと競演」は、文字通り地元(ふるさと)のみなさんが主役となってステージ上で楽しいパフォーマンスやふるさと自慢などを対抗戦形式で競い合うもので、仙北市からは「生保内節」を唄う中学生、地主和希さん、富岡沙樹さん、角館歴史案内人の畠山聖子さんやおやま囃子を披露した藤原組のみなさん、西木力自慢の若者、白岩小学校5・6年生のみなさんが出演。ゲストの松原のぶえさんが大仙市、石原詢子さんが仙北市のチームリーダーとして応援していただき会場を盛り上げ、楽しく華やかなステージとなりました。そして対抗戦の結果、勝ったのは...。NHK総合テレビで11月10日(金)午後7時30分からの(再放送:BS第2放送で12月24日午後0時15分から)放送をぜひご覧ください。

認知症予防講演会

9月20日、認知症予防講演会が角館樺細工伝承館で開催されました。

岩手県滝沢村のあすみのクリニック院長の斎藤宏之氏を講師に迎え「今からでも間に合う 知れば怖くない認知症」と題した講演が行われました。

斎藤氏は、「認知症は、脳や身体の疾患を原因として記憶・判断力などの障害が起こる『病気』であり、単なる物忘れとは違う」と話し、早期発見のポイントや家族の接し方などをユーモアも交えながら説明し、「おかしい」と思ったから、歳のせいと放置せず早めに医療機関に相談し治療することが大切と訴えていました。



ユーモアを交えた楽しい話で盛り上がった講演会

平福百穂顕彰短歌大会

平福百穂顕彰短歌大会



秋葉氏の話真剣に耳を傾ける参加者

第12回平福百穂顕彰短歌大会が10月1日、角館樺細工伝承館で開催されました。

講演会では、現代歌人協会会員(元理事)、日本文芸家協会会員の秋葉四郎氏を講師に迎え「短歌を作り易くする十のポイント」と題し、ポイントの一つとして真似ることを武道などでの「守破離」を例に「意識して真似る...型、技を確実につける段階」「意識せずに真似てしまう...発展する段階」「意識して真似ない...独自の新しいものを確立する段階」と説明。正岡子規や斎藤茂吉の歌を例に様々なポイントを解説していました。

講演終了後、参加者は市内を探訪し、選歌発表と表彰が行われました。入選歌は次のとおりです。

(天) 水田を埋め立てて成る子の新居堂の来るを嫁と来て言ふ	東海林 勇一
(地) 稲わらを生ある如くあやつりて荒れし手に父はわらぐつ編みき	加賀谷 育
(人) 胃カメラの検査終了「異常無し」メール打つ指の弾みて踊る	松田 淳子